

研究の窓

あらゆるものに共通する
ネットワーク理論を、
解き明かしたい。

ビジネス学部
ビジネス学科
准教授

鄭年皓
ジョンニョンホ

【学歴】
2000年8月 (韓国)西江大学文学部史学科・経営学部経営学科卒業
2005年3月 明治大学商学研究科博士前期課程修了
2009年3月 明治大学商学研究科博士後期課程修了

【職歴】
2007年4月 明治大学商学部専任助手
2008年4月 山梨学院大学経営情報学部非常勤講師
2009年4月 明治大学商学部兼任講師
2011年4月 明治大学商学部専任助教
2014年4月 愛知淑徳大学ビジネス学部准教授

【主な学外活動】
2013年6月 日本経営システム学会常任理事

「生涯学び、成長し続ける基盤を築いてほしい」と願い、学生の教育に励む鄭先生。ご自身も向学心・向上心にあふれ、経営システムや経営情報などの専門分野を追究していく。異なるもの同士がつながり、互いに影響を与え合つことで、新たな価値を創造していく——そうした「ネットワーク理論」を明らかにするため、研究に力を注いでいます。

ネットワークという言葉を連結や繋がりというように、多少抽象度の高い意味で捉えると、我々は実に多くのネットワーク関係に置かれています。例えば、我々は家族関係・友人関係・仲間関係はもちろん、地域社会や国際社会という、多様なネットワーク関係の重なり合いの中で毎日過ごしているわけです。鉄道や道路のような交通網、生物の神経系、生態系、さらには地球や宇宙も、必ず何らかの繋がりを持っているため、ネットワークの典型例です。

従いまして、ビジネスもネットワークです。なぜなら、ビジネスは、製品やサービスの開発と生産を行い、消費者に販売する一連のプロセスによって構成されるため、企業と企業、企業と消費者の絶え間ない繋がりとし

て理解ができるからです。ただし、人や組織は、自由勝手に行動しようとするため、そのネットワーク関係は非常に複雑になってしまいます。特に、ビジネスの世界では、企業の利害関係によって、ネットワーク関係を形成・拡張したり、解体したりすることが頻繁に行われるわけです。私はこうしたネットワーク関係に注目し、(ビジネス)ネットワークの形成と拡張、またはその解体に関する研究に取組んでいます。さらに、ビジネス関係は多重で多様なネットワークの世界に置かれているため、「予期せぬ」創発や革新が生まれる場合が多いです。こうしたネットワークによる「予期せぬ」創発や革新という問題も私の主要な研究テーマです。

鄭先生の主要著書

- 「日本人の心理・行動モデルと日本企業のクオリティ」2010、白桃書房(分担執筆、第5章、第8章、第9章、第12章)
- 「経営システムへの招待」2011、日本評論社(分担執筆、第5章)
- 「経営品質科学の研究」2011、中央経済社(分担執筆、第13章、第15章)
- 「日本企業のヒューマン・リソース・マネジメント」2011、東京経済情報出版(分担執筆、第7章、第15章)
- 「経営情報のネットワーキング戦略と情報管理」2014、同文館出版(分担執筆、第12章、第16章、第17章)
- 「バランスングの経営管理・経営戦略と生産システム」2014、文真堂(編著)

